

ORCA CO., LTD.

3F, X's BLDG., 26-22, HIGASHI-OHI 5-CHOME, SHINAGAWA-KU, TOKYO 140-0011
Tel: 81-3-3471-8898 Fax: 81-3-3471-8899 E-mail: systemdiv@orcajpn.co.jp



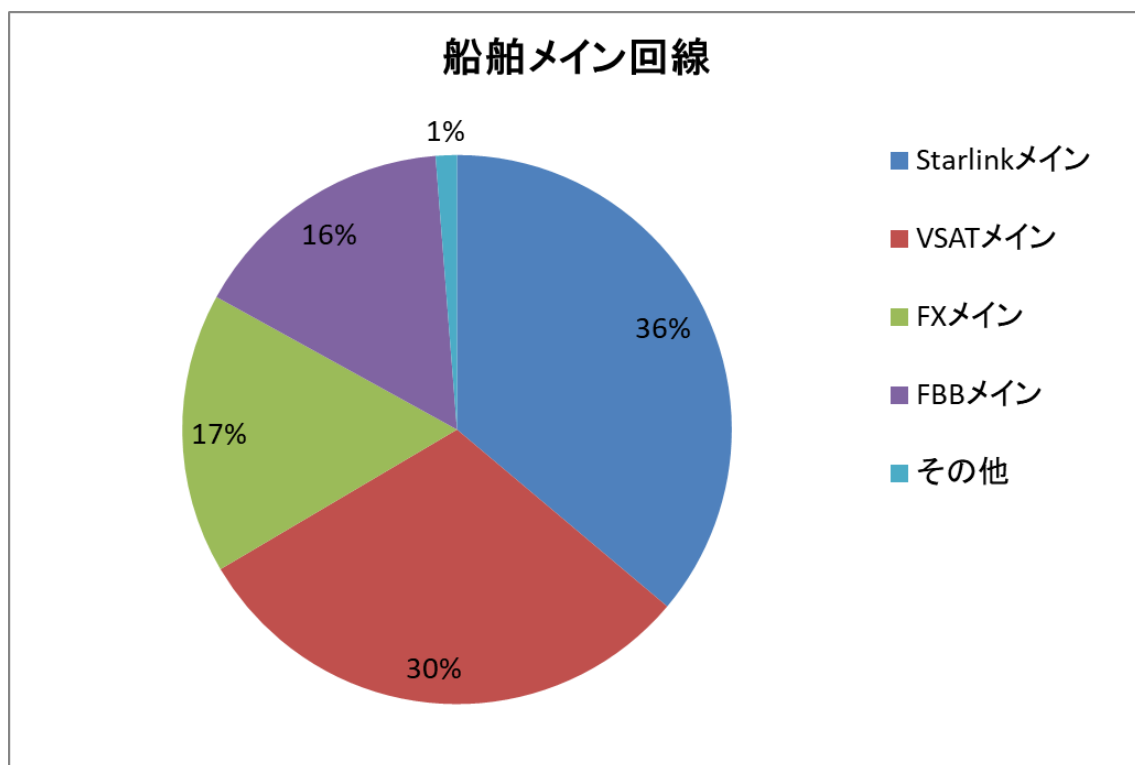
2025 船舶通信(Starlink,FX,VSAT)シェア集計

平素よりお世話になっております。

2024 年は SpaceX 社の Starlink が急激に普及した一年となりました。弊社で本船に Starlink 設置をお手伝いした船舶の数は、300 隻弱となりました。ほぼ一日に一隻 Starlink 設置工事が行われた状況で、これほど急激な設置ペースは過去に例を見ません。

そこで 2024/12/31 時点の各船舶の通信インフラのデータを集計いたしました。母集団は弊社が保守を承っている船舶で、海運業界全ての船舶ではない点にご注意ください。

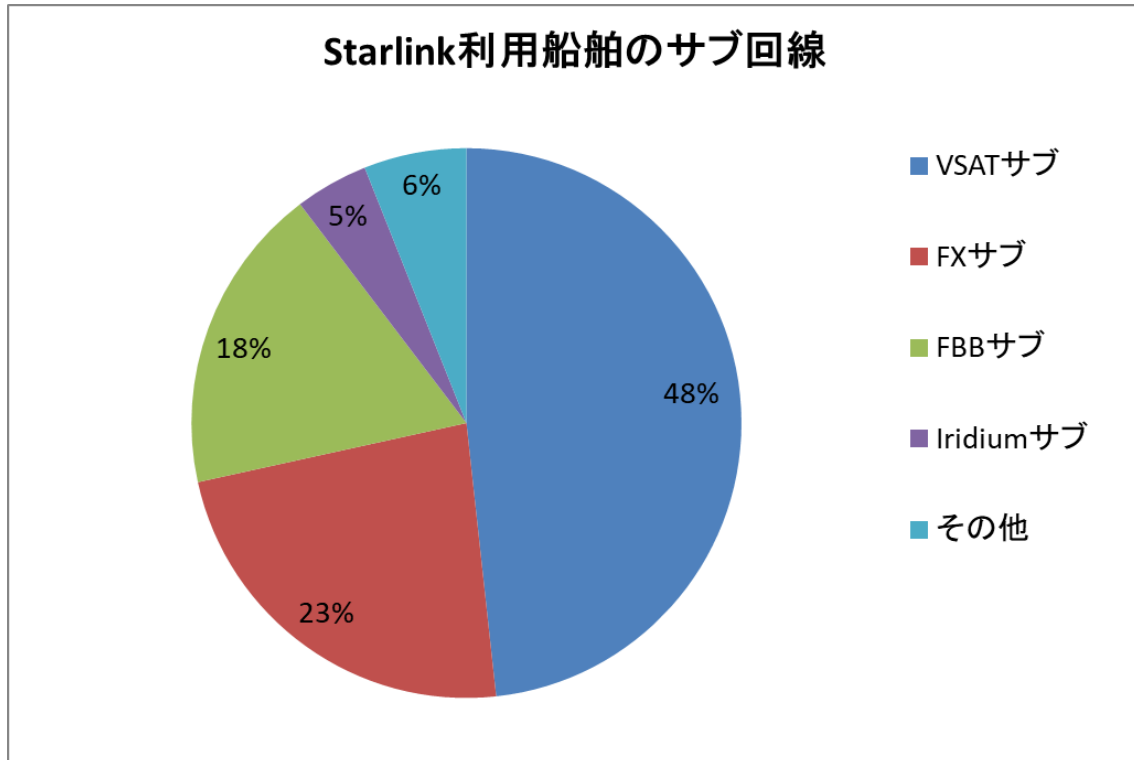
まず船舶のメイン回線についての集計をご参照ください。



Starlink が 36.1%でトップシェアとなり、これまでのトップであった VSAT を逆転しました。Starlink の普及開始からの期間が事実上昨年一年だけであることを考えると、これほど短い期間で VSAT を追い抜いたことは恐るべきことです。

一方で Starlink、VSAT、FX を合わせたブロードバンド普及率は 83%となりました。今後海運系システムのインターネット環境移行は大幅に進むと考えられます。

次に Starlink 利用船舶がどの回線をサブ回線として利用しているかについても集計いたしました。ご承知の通り Starlink はまだ未承認国や一部地域で利用できず、全世界をフルカバーしているわけではありません。特に中国で利用できないことは大きなデメリットとして認識されており、各社の Starlink 設置船舶ではこれを補うためのサブ回線を維持しています。



数字で見ると一番多いのは VSAT サブで 48.3%となっております。ほとんどの場合、既存船の既存回線に対して、Starlink を新規回線として追加している形ですが、新造船では Starlink + Iridium というケースも見受けられます。本船の運航範囲を考えると、サブ回線として特に VSAT、FX を必要としないと判断しているケースもあるようです。ほとんどの船舶ではさらなるサブ回線として 4G/5G 回線を保持している点も影響があると考えます。

また、この集計には乗っておりませんが、今後の新造船では Starlink 複数搭載の計画も非常に多く、増加した帯域により画像転送や監視系のシステムの導入を進めるという目的があるようです。

この集計が皆様の船舶 IT 整備計画に役立てば幸いです。